

宣 言 ・ 決 議

宣 言

埼玉県退職校長会は、埼玉教育の振興に寄与するとともに、会員の親睦と福祉の増進を図ることを目的として昭和40年に結成され、以来、組織の充実・強化を図りながら目的達成への努力を重ねてきた。

今日、成熟社会を迎えた我が国は、急激な少子高齢化が進む中で、生産年齢人口の減少傾向が続いている。グローバル化の進展及びAI等の絶え間ない技術革新により、社会構造や雇用環境は、急速に変化しており、予測困難な時代となっている。現在、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が長期化し、感染防止に向けた望ましい日常生活の在り方や学校教育の運営・管理にも新たな工夫や改善が進められている。

このような時代にあって、児童生徒には「主体的・創造的に課題を発見する力や解決に導く力」、「多様性を受容し他者との意思疎通を図るコミュニケーション力」、「ICTの活用能力」等々、未来をたくましく生きていくことのできる資質・能力を育むことが求められている。

さらに、急激な政治・経済・社会の変動に伴う年金制度改革や高齢者医療・介護保険制度をめぐる動向を注視し、会員の福利厚生増進に努める必要がある。

我々は、教育の現状と会員の福祉にかかわる諸課題を正しく見据え、教育行政機関及び教育諸団体との連携をいっそう強化し、日本国の発展に尽くす人材の育成を目指した教育の進展に寄与するとともに、会員の福利厚生さらなる増進に努める決意を新たにしている。

ここに、下記事項を決議し、その実現を期する。

決 議

- 1 教育尊重の機運をよりいっそう高めるため、「彩の国教育の日」の取り組みを積極的に支援するとともに、全国組織と連携し、国民の祝日「教育の日」制定の活動を推進する。
- 1 生涯学習活動の振興と学校安全等に関わる教育支援のいっそうの充実に努め、埼玉教育の活性化に寄与する。
- 1 生活基盤である会員の年金制度の充実と、叙勲枠の拡大に努める。
- 1 会員の福利厚生さらなる増進を図り、豊かな生きがいを実現する。
- 1 組織の充実・強化に努め、コロナ禍における活動の活性化を図る。

令和3年6月4日

第57回 埼玉県退職校長会定期総会